

## 目 次

### 馬事往来

馬に魅せられて

—世界を旅してたどりついたのは、英国競馬と馬への責任— …… 園部 花子 …… 1

### 馬事資料

『競走馬の能力並に調教に関する研究』松葉重雄 著 …… 平賀 敦ほか …… 13

### 特別記事

馬の飼育管理とアニマルウェルフェア …… 二宮 茂 …… 20

日本ウマ科学会第 28 回学術集会 優秀発表賞受賞者紹介 …… 22

書籍紹介 …… 23

Journal of Equine Science Vol. 27 No. 1, March 2016 和文要約 …… 25

学会記事 …… 27

お知らせ …… 39

協賛団体名・賛助会員名簿 …… 40

Hippophile 投稿に関する基準 …… 41

編集後記

Hippophile No. 64

### - 編集委員 -

|          |                      |                     |
|----------|----------------------|---------------------|
| 編集担当常任理事 | 田谷 一善 (東京農工大学)       |                     |
| 編集委員長    | 楠瀬 良 (日本装蹄協会)        |                     |
| 編 集 委 員  | 相川 貴志 (地方競馬全国協会)     | 永井富美子 (エディター)       |
|          | 石田 信繁 (JRA 競走馬総合研究所) | 沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会) |
|          | 近藤 誠司 (北海道大学)        | 三浦 暁子 (エッセイスト)      |
|          | 末崎 真澄 (馬の博物館)        | 守谷 久 (北海道新聞社)       |
|          | 杉本 篤信 (競馬保安協会)       | 山口 洋史 (JRA 馬事公苑)    |
|          | 関 正喜 (北海道新聞社)        | 山野 浩一 (作家)          |

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899 年 49.8×34.1 センチ多色刷り  
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science